◆開創七十三周年記念大祭
十一月二日・三日厳修
※十一月三日十一時に記念大法要
◆七五三まいり
十一月末まで厳修

名古屋成田山

創刊昭和29年1月25日（869号）令和8年10月号

発行所：愛知県犬山市 成田山名古屋別院大聖寺
電　話：0568(61)2583(代)
FAX：0568(62)7020

犬山成田山　検索

犬山成田山のホームページはこちら▶▶



学童席上揮毫大会で日頃の練習の成果を、筆に込めて披露する子供たち。

教苑

ラ・フェスタ・プリマヴェラ La Festa Primaveraとは



「La Festa Primavera」は、クラシックスポーツカーで東海・近畿地方の美しい街並みや自然の中を走行するスタンプラリーイベントです。「春の祭典」を意味する名前の通り、毎年4月に開催され、歴史ある自動車と日本の美しい春の風景を同時に楽しめることが大きな特徴です。

一般的な自動車イベントのように車を展示するだけではなく、参加者自身がクラシックカーを運転し、決められたルートやチェックポイントを巡りながらゴールを目指します。参加車両は、独特なボディデザインや大きなヘッドライト、クロームメッキのパーツ、木製のステアリングなど、現代の自動車にはない魅力を備えています。

長い年月を経た車がエンジン音を響かせながら道路を走る姿は、静止した展示車両とは違った迫力があります。また、単純に速さを競うレースとは異なり、何10年も前に製造された車を大切に扱いながら、決められたルートを正確に走行することが求められます。こうした競技性とクラシックカーを運転する楽しさが融合していることも魅力の一つです。

さらに、歴史的な街並みや郊外、山間部など、日本の美しい春の風景の中をクラシックカーが走り抜ける光景も、このイベントならではの魅力です。ルート沿道では、通過する名車に手を振ったり写真を撮ったりしながら楽しむことができ、車両ごとに異なるデザインやエンジン音を見比べることもできます。

参加車両を通して、自動車産業やモータースポーツの歴史を感じることができるのも特徴です。こうした車を現在も走行可能な状態に維持し、公道を走らせるためには、オーナーや整備に携わる人々の知識と技術、そして車への深い愛情が欠かせません。

La Festa Primaveraは、貴重な自動車を保存するとともに、その歴史や魅力を次の世代へ伝えていく文化的な役割も担っています。歴史ある自動車、ドライバー、沿道の人々、そして日本の美しい春の風景が一体となってつくり上げる「クラシックカーの祭典」。それこそが、La Festa Primaveraです。

株式会社フォルツア
制作部部長　圓谷 祐介

祝 第97回都市対抗野球大会 西濃運輸優勝



左▶マネジャー・渡邊豪氏 / 中央▶小豆畑主監 / 右▶監督・佐伯尚治氏

九月六日、東京ドームで第97回都市対抗野球大会の決勝戦が行われ、大垣市代表の西濃運輸が12年ぶり二度目となる優勝を果たしました。長年にわたり本大会への出場を続けてきた西濃運輸は、初戦から接戦を勝ち抜き、着実に勝ち進みました。決勝では序盤にリードを奪い、終盤に追い上げを受ける場面もありましたが、見事に守り抜き、黒獅子旗を手にしました。

西濃運輸の快挙を祝し、後日、監督・佐伯尚治氏とマネジャー・渡邊豪氏そしてブランド広報戦略室長（西濃運輸 空手道部部長）・加藤周治氏が当山を訪問。優勝の喜びを分かち合うとともに、これまでの活躍を称え、今後のさらなる飛躍を祈念しました。

来山された皆様の晴れやかな笑顔からは、長年の努力が実を結んだ喜びが感じられ、当山にとっても大変うれしいひとときとなりました。【写真左】



岐阜県自動車会議所 交通安全協会主催 交通安全祈願祭厳修

九月十八日午後一時半より、岐阜市日置江の岐阜県自動車会館において、一般社団法人岐阜県自動車会議所・岐阜県交通安全協会共催による交通安全祈願祭が、小豆畑主監お導師のもと厳修されました。

当日は、九月二十一日から三十日まで実施される「秋の全国交通安全運動」に合わせ、「自動車交通事故防止大会」が開催され、大会の冒頭に交通安全祈願祭が執り行われました。大会には、岐阜県内の自動車交通安全関連団体の代表者をはじめ、多くの来賓が参加されました。

祈願祭では、交通事故のない安全で安心な社会の実現と、日々道路を利用するすべての方々の安全が祈念されました。交通事故を防ぐためには、一人ひとりが交通ルールを守るとともに、周囲への思いやりを忘れず、互いに安全を心掛けることが大切です。本大会と祈願祭が、交通安全への意識を改めて高める機会となることを願います。



アクセサリー・雑貨勢ぞろいマルシェ開催

九月二十一日、二十二日の祝日に、「Me＋marche」が開催されました。かわいいアクセサリーやハンドメイド雑貨をはじめ、キッチンカーやフード、ワークショップ、整体施術・占いなど、さまざまなブースが並び、多くの来場者でにぎわいました。また、和太鼓やサックス、大道芸などのパフォーマンスも行われ、会場を大いに盛り上げました。子どもから大人まで幅広い世代が楽しめ、シルバーウィークのひとときを家族や友人と楽しむ姿が多く見られ、終始明るく和やかな雰囲気に包まれていました。

来場者はそれぞれのお気に入りを見つけたり、新たな体験に触れたりと、思い思いの時間を過ごしていました。

多彩な企画を通じて、訪れた人々にとって心弾む楽しい二日間となりました。今後もこうした催しを通じて、地域のつながりや発展に当山は寄与してまいります。



第六十三回 成田山学童席上揮毫大会開催

十月三日、成田山信徒会館にて第六十三回成田山学童席上揮毫大会が開催されました。【写真下】

幼児から高校生まで多くの参加者が、日頃の練習の成果を競い合いました。同日午後には、白帝書道会の先生方による審査が行われ、特別賞受賞作品が選出されました。

成績は十月下旬頃、「中日新聞」「名古屋成田山」新聞紙上および犬山成田山ホームページにて発表する予定です。



七五三まいり［十一月末まで厳修］

当山では十月一日より『七五三まいり』を厳修しております。

連日、多くのお子様と保護者の方々が参拝され、本年めでたく七五三を迎えられたお子様の健やかなご成長とご多幸を祈願されております。七五三は、お子様の成長を喜び、これからの健やかな成長を願う大切な節目の行事です。ご家族そろってお参りいただき、お子様の成長をお祝いするとともに、末永い幸福をお祈りください。

『七五三まいり』は十一月末まで厳修しております。



今年も晴れ着姿の七五三参拝が始まっています。

第42回 成田山全国競書大会 受賞者書道交流会

◆文部科学大臣賞

私立岐阜聖徳学園大学附属中学校一年
登田 晟路さん

書道は宝物



「席書会」で奉納揮毫する筆者

僕にとって「書道」は、常に身近にあり、心のより所となっています。そんな「書道」の学びを通して、また一つ大きな宝物が増えました。この度は第四十二回成田山全国競書大会において、「文部科学大臣賞」という大変名誉ある賞をいただけたことを心より光栄に思います。ただただ字を書くことが大好きで、幼い頃から筆を持ち、いろんな楽しみを経験してきました。というのも、僕の伯父伯母の吉澤先生は書道家で、その楽しみを今でもたくさんたくさん教えてくれています。特に書道のコンクールに向けての特別な学びも大事な中、それよりも常日頃の基礎となる書道の学びが根底にあり、そこから芽が出て大きな木となり、その枝葉が育つのだから、学びの過程が大事と教えてくれています。僕もそれを信じて、毎月の競書の学びを怠らないように継続しています。中学生になり、行書を学ぶようになると筆の使い方が変わり、難しいけれど、ますます書道の魅力を感じています。

そんな中、毎年挑戦していた成田山全国書道展において今回の賞をいただけたことは、飛び上がるほど嬉しいことで、同時に「やったー」とガッツポーズも出ました。実際に席上揮毫会や交流会に参加して、心を落ち着かせ、大丈夫と言い聞かせたけれど、先生方や仲間の注目を浴びていることに、嬉しくもあったが、筆先に集中し過ぎて、少し字形が崩れてしまったことが悔やまれます。でも仲間や先生方のサポートもあり、最後の名前までしっかりと集中して書くことが出来ました。また土橋靖子先生のご揮毫の姿は今でも僕の心に強く残っています。書道は人の心に大きく影響することや、ただ書くだけではなく、精神力も鍛えなければならないことも学べた交流会でした。

夜の交流会でも、一人一人のインタビューもあって、堂々と受け答えができた自分がいて、「今回の経験で少し度胸がついたかな。」と、嬉しくなりました。また今回のご褒美で東京ディズニーランドへ。夢の国を心から楽しめたことも今回の思い出となりました。

現在、岐阜の地で、恵まれた環境にいる僕は、これからもずっと書道を継続していきたいです。学校で学ぶ書写とは違って、中国や日本の書道の歴史にも今は興味を持っています。またこの秋には岐阜市にて「書道パフォーマンス」にも参加予定です。今回の喜びを胸にこうやっていろんなことにどんどん挑戦していき、漢字や日本の仮名の面白さをさらに感じていきたいと思えた交流会でした。

最後にこのような貴重な機会をくださった成田山新勝寺様、審査員の先生方、事務局の方々、全ての皆様に、書を学べる環境を幸せに思い、心より感謝して、これからもいっぱい宝物が増えるようにがんばります。



受賞作品

開創七十三周年記念大祭

記念大法要



貫首 岸田照泰 大僧正

大本山成田山新勝寺
貫首（かんす） 岸田照泰 大僧正ご巡錫（じゅんしゃく）
11月3日［祝日・文化の日］
午前11時より本堂にてご親修（しんしゅう）

記念大祭行事日程

11月2日（月）
［宗祖弘法大師報恩法要］午前10時 大師堂
［献華式］午前11時の大護摩供に併催

11月3日（火）【祝日・文化の日】
［開創七十三周年記念大法要］午前11時
［記念大祭式典］記念大法要終了後
［大祭記念大護摩供］午前9時・13時・15時
［八方宝剣法要］午前9時半、祈祷殿屋上



貞照寺だより

令和八年 秋彼岸会法要

お彼岸の中日に当たる九月二十三日、小豆畑住職お導師のもと秋彼岸会法要が営まれました。

当日は檀信徒をはじめ大勢のご家族、ご親族が参列され、合掌焼香して心静かに供養の誠を捧げられました。ご先祖様への感謝と追善の思いを胸に、それぞれのご家族が故人を偲び、安らかな御霊のご冥福を祈られました。また本堂での法要終了後、引き続き水子地蔵尊宝前において回向をお勤めし、各家水子の御霊を供養いたしました。【写真左】



モダン雅楽会 奉納演奏

九月二十四日、モダン雅楽会（代表＝田中佐京氏）の皆様がご来山、雅楽の奉納後諸芸上達祈願の御護摩を受けられました。【写真左】



奉納者芳名

◆大ローソク
奈良県 藤本絵里香
〃 藤本理央
岐阜市 渡邉一充
茨城県 幅淳二

◆のぼり
各務原市 森安ひとみ
豊川市 犬塚善治
岐阜市 岡部息吹
各務原市 樽谷雅代
〃 樽谷知歩

◆供物
犬山市 上杉超治
各務原市 中野隆
〃 樽谷照生
岐阜市 安田薫子
〃 山田きよ子
各務原市 原敬徳
名古屋市 木村清一
犬山市 中山佳子

貞奴忌

川上貞奴女史 追善法要

十二月七日（月）
午前十時半より厳修



索の會だより

索の会特別企画

成田山川越別院参拝

富岡製糸場・伊香保温泉の旅



川越別院 樋口照喜主監を中心に記念撮影

成田山索の会特別企画として、九月十四日・十五日の両日、一泊二日の日程にて、群馬・埼玉方面への親睦旅行を実施し、参加者総勢約63名での催しとなりました。

早朝出発した一行は、最初の目的地である世界遺産富岡製糸場へ向かいました。館内では、明治五年の操業開始以来、日本の近代化を支えた製糸業の歴史に触れ、当時の建造物や製糸機械などを見学しました。

その後、坂東三十三観音霊場第十六番札所、五徳山水澤観音へ向かい参拝。本堂前で法楽を勤め、観音様とのご縁を結ばせていただきました。参拝後は伊香保温泉へ移動し、宿泊先にて懇親会を開催しました。和気あいあいとした雰囲気の中、参加者同士親睦を深め、一日目の行程を終了しました。

二日目、宿泊先を後にした一行は埼玉県川越市へ向かい、成田山川越別院本行院を参拝しました。参拝を通じ、参加者皆様それぞれに心静かにお参りをされました。



群馬県指定重要文化財「水澤寺六角二重塔」

その後は小江戸川越の街並みを自由散策。蔵造りの町並みや歴史ある建物を眺めながら、買い物や食事など思い思いの時間を過ごし、川越の風情を楽しみました。その後帰路に就き、無事二日間の行程を終えました。

今回の旅行を通じ、参加者皆様が親睦を深めるとともに、各地の歴史や文化に触れ、観音様並びに成田山とのご縁を結ぶ、実り多き二日間となりました。ご参加いただきました皆様、また此度の親睦旅行にご尽力、ご協力いただきました全ての皆様に、厚く御礼申し上げます。　**事務局記**

◆ご協賛者芳名（順不同敬称略）

丹羽郡　福玉精穀倉庫㈱
　　社本　光永
名古屋市　山崎製パン㈱
　　名古屋工場
〃　名鉄観光バス㈱
〃　岡部　幸男
〃　㈱イトピー

物故者慰霊法要

【名古屋成田講支部】

九月二十日、名古屋成田講支部（支部長＝岡部幸男氏）の物故者慰霊法要を営みました。

本堂にて大護摩供参拝後、大師堂に移り、回向文が奉読された後、香をたむけ、故人のご冥福をお祈りしました。

その後は、信徒会館にてお斎を頂戴し、故人を偲び、支部の発展を誓いました。　**上林記**

【岐北月参講支部】

十月一日、岐北月参講支部（支部長＝鈴木伸典氏）は十一時の護摩御祈祷参拝に先立ち、大師堂にて物故者慰霊法要を営みました。参列者は香を手向け、支部結成以来の物故者に供養の誠を捧げました。　**菱木記**

今年度会費未納の方へ

索の会 年会費 納入のお願い

索の会会員の方で今年度分の会費未納の方は、来山時にお持ちいただくか、または十一月三日の開創七十三周年記念大祭参拝の折にお納めいただきますようお願い申し上げます。

旅行者代表より参拝の記

参拝の旅を終えて

令和八年九月十四日・十五日、索の会の旅行に参加させていただきました。

一日目は群馬県の富岡製糸場を訪れ、明治初期に操業を開始した日本初の官営模範工場を、ガイドさんの説明に耳を傾けながら見学しました。歴史を感じさせる大変すばらしい建物で、当時の様子を思い浮かべながら見学することができました。

次に向かったのは坂東三十三観音第十六番札所、水澤観音です。ここでは皆さん思い思いに心静かに手を合わせるひとときを過ごしました。その後宿泊先である伊香保温泉で旅の疲れを流した後懇親会になり、美味しい料理を囲みながら親睦を深めることが出来、楽しいひと時を過ごしました。

二日目は、埼玉県川越市へ向かいました。ここでは、成田山川越別院の本堂にてお参りをさせていただきました。参拝見学を終えた後、小江戸川越の街並みを自由に散策しました。歴史ある建物が立ち並ぶ通りを歩きながらすばらしい川越の歴史ある姿を見ることが出来、時代を超えて当時の雰囲気を楽しむことが出来ました。

その帰路、バスガイドさんの案内に耳を傾け、旅行の思いを語り合いながら和やかな雰囲気の中、帰着することが出来ました。次回の参拝旅行を、今から楽しみにしております。どうか皆様もお元気でまたお会いしましょう。　**宮木　郡二**



世界遺産・富岡製糸場を訪れ、記念撮影する旅行参加者の皆さん。

五色のぼり旗志納者芳名

（順不同敬称略）

稲沢市　内田　満美
多治見市　水野　智雄
岐阜市　堀場　祐哉
〃　堀場　ちひろ
〃　安田　薫子
〃　安田　壽幸
〃　安田　みね子
〃　渡邉　一充
〃　幅　淳二
犬山市　成田山索の会　犬山一心支部
丹羽郡　坂野　友哉
東京都　㈱エヌ・シー・エル　内田　義治
〃　ムラカワ㈱　内田　耕平
名古屋市　㈱ナオカ　岡部　幸男
〃　岡部　小枝子
〃　岡部　敦子
〃　岡部　智子
〃　岡部　希望
岐阜市　高橋　雅也
〃　高橋　明子
名古屋市　宮澤　保雄
〃　尾藤　栄
〃　岡田　節郎
〃　岡田　恵子
〃　名古屋成田講　岡部　幸男
犬山市　松山　知里
丹羽郡　福玉米粒麦㈱
〃　福玉㈱
〃　福玉ロジスティクス㈱
〃　㈲マルカメ
〃　社本　光永
〃　社本　弘美
〃　今枝　達夫
〃　成田山索の会　丹羽支部
〃　堀尾史蹟顕彰会
犬山市　成田山索の会　犬山成田山講支部
名古屋市　㈱保坂工業所　成田山索の会　白帝支部
岐阜市　かいちゃんの　アップルパイ　松野　麻美
〃　松野　權士
土岐市　河邉　隆二
〃　河邉　まりこ
名古屋市　㈱三弘ホールディングス　田中　信弘
〃　㈱三弘ホールディングス　田中　彰人
滋賀県　野呂　陽子
各務原市　滋賀丸門運輸㈱
各務原市　㈲茗荷屋
小牧市　梅田　吉則
〃　成田山索の会　小牧支部
名古屋市　成田山索の会　味鋺成田講
〃　味鋺成田講支部
丹羽郡　池田　操子
岐阜市　山田　きよ子
知多郡　榊原　英治
〃　榊原　由美
一宮市　医療法人かすがい内科
〃　春日井　幸代
可児郡　成田山索の会　伏見口支部
岐阜市　久保田　浪子
〃　久保田　修次
碧南市　成田山索の会　碧南支部
揖斐郡　井上メッキ工業㈱
〃　神谷　英明
〃　神谷　みさと
度会郡　㈱神路社　山本　高師
京都市　松田㈱　百々　幸佑
多治見市　プライベートサロンマナ　東濃支部
〃　東濃運輸㈱　小沢　由幸
名古屋市　港トラック成田講
岐阜市　㈱ハート　コンサルタント　正村　直美
江南市　倉知　勝治
岩倉市　成田山索の会　岩倉支部　みどり
江南市　藤井　衿花
〃　藤井　衿花
丹羽郡　大矢設備
弥富市　桜運輸㈱
〃　細江　良枝
岐阜市　武山　和元
岐阜市　武山　美穂
犬山市　城　悦英
〃　城　千宏
春日井市　高倉　敬子
〃　林　航平
〃　谷口　健二
栃木県　㈱阿部　眞和興業㈱
江南市
岐阜市　宮川㈱　宮川　弘行
海部郡　杉戸　善紀
〃　杉戸　俊之
美濃加茂市　癒し庵岐阜月黄泉　手もみ処月の灯
名古屋市　土橋　繁樹
〃　㈲川合建材　飯沼　貴文
名古屋市　飯沼　保子
弥富市　山口　ゆかり
〃　山口　裕規
半田市　石川　幸延
〃　知多護謨工業所
揖斐郡　白山建設㈱
〃　杉山　智啓
〃　エイシンワーク工業　古川　英二
〃　古川　真理
岐阜市　㈱ファームトップ　久保田　昇平
〃　久保田　麻衣
〃　エターナル　戸倉　由紀子
〃　森　真里奈
岩倉市　九州屋台　居酒屋あらお　あらむ～ちょ
北名古屋市　オートシャイン
岩倉市　パーソナルトレーニング&ボクシングジムWILL　大島　庸介
〃　大島　恵
〃　恵那市　成田山索の会　明智大教会支部
名古屋市　丸一運輸㈱　小林　義史
〃　㈱オーエヌトランス
〃　㈱アスラック　ロジピット㈱
四日市市　㈱ウエスギ　上杉　勝治
〃　㈱ウエスギ　上杉　啓詞
〃　成田山索の会　四日市支部
可児市　成田山索の会　土田成田講支部
岐阜市　温熱リラクゼーション　うれしの　粕谷　陽子
〃　粕谷　誠
名古屋市　大籔　照心
各務原市　槫谷　照生
〃　槫谷　雅代

此度ご志納を賜りました五色のぼりは、毎年十月中頃から翌年二月中頃まで掲げさせていただきます。ご志納賜りました皆様へ厚く御礼申し上げます。

令和十年成田山開基一〇九〇年祭慶讃

成田山名古屋別院大聖寺 開創七十五周年記念事業ご志納のお願い

この度当山では、来る令和十年四月、本山新勝寺に於ける成田山開基一〇九〇年祭大開帳奉修のご勝縁と、当山開創七十五周年のご勝縁を二大瑞縁として、ここに「開創七十五周年記念事業」を発願致しました。

就きましては、この浄業達成のため、絶大なるご協賛ご志納金を賜りますよう、ここに謹んでお願い申し上げます。

至心合掌

記念事業概要

一、本堂耐震化及び本堂内荘厳大改修
一、不動明王像・二大童子像及び四大明王像修復
一、信徒会館内エレベーター新設工事
一、山容整備事業

1. 稲荷堂遷座改修
2. 憩いの場改修工事
3. 奉納大提灯（索の会）

総事業費八億円

一、記念事業ご志納金　一口　一万円以上

※ご志納金はその多寡にかかわらず承ります。
尚、各位積徳の志は、永く寺録に留め鴻恩と致します。

一、諸堂伽藍銅板ご志納　一口　三千円以上

ご志納のおすすめ

ご尊像に願主のご芳名を謹書し本堂に奉安して毎日貴家の繁栄をご祈願申し上げます。

奉納 不動明王像



志納金100万円



奉安場所　本堂内、ご本尊お膝元

・総高31.8cm 横幅16.5cm 奥行12cm
・材質：米ヒバ
・御尊像の台座にご信徒のご芳名を浄書いたします。

萬願燈



志納金70万円



志納金50万円



奉安場所　本堂内、後堂天井

・七寸▶全長45.5cm 屋根幅31.0cm
・六寸▶全長38.8cm 屋根幅24.5cm
・材質：真鍮製（本金メッキ・LED球付）
・底面にご芳名、お願い事をご記入致します。

掛仏（かけぼとけ）（不動明王像）



志納金20万円



奉安場所　本堂内、後堂壁面

・総高19.5cm 横幅14.0cm 厚み1.0cm
・材質：ヒバ材（合成良質顔料・純金箔使用）
・御尊像の台座にご信徒のご芳名を浄書いたします。

お問い合わせ　TEL：0568-61-2583　詳しくは総受付までお越しください。

11月行事のご案内

日	月	火	水	木	金	土
1 ご縁日	2	3 記念大祭 大法要	4 安心祈願日	5	6	7
七五三まいり						
8 MARINE GP 2026 スーパーカー集結予定	9	10	11 安心祈願日	12	13	14
七五三まいり						
15 ご縁日 ご詠歌	16	17	18 安心祈願日	19	20	21
七五三まいり						
22	23	24	25 安心祈願日	26	27	28 ご縁日 写経会
七五三まいり						
29	30	12/1	12/2 安心祈願日	12/3	12/4	12/5

開創 73 周年記念大祭 ▶ 11/2・11/3
〈七五三まいり〉▶ 10/1～11/30
行事は中止または内容変更となる場合がございます。
ホームページ、お電話にてご確認お願い致します。



護摩木のおすすめ

家内安全　成田一郎

お名前とお願い事を浄書してお申込み下さい。お護摩祈祷にてお焚き上げし、お願い事が成就されますようご祈念いたします。初穂料三百円以上、五百円以上(大)



〔対　象〕中高年の方
〔日　時〕毎週水曜日（但し一月中を除く）
　７：００～１７：３０（随時受付）
〔場　所〕自動車祈祷殿
〔内　容〕自動車交通安全・災難消除ご祈祷
　『祈交通安全の証』特別授与
〔ご祈祷料〕３,５００円・５,０００円以上
　＊おひとりでも、ご夫婦、
　ご家族でもお参りいただけます。

八月・九月 銅板志納者芳名

（順不同敬称略）

各務原市　㈱ＴＥＡＭ
多治見市　早川　勇
名古屋市　梅山　祐子
弥富市　㈱ダイセー　セントレックス
岐阜市　赤地　佳代

八月・九月 大護摩供修行者芳名

（順不同敬称略）

名古屋市　港トラック成田講
瑞穂市　丸門建設㈱
羽島市　丸門運輸㈱
名古屋市　㈱ＴＫＢ
東近江市　滋賀丸門運輸㈱
名古屋市　篠田正樹
〃　㈲日幸通信
岡崎市　川地民子
各務原市　㈱ＴＥＡＭ
碧南市　井上メッキ工業㈱
名古屋市　山崎製パン㈱名古屋工場

八月・九月 自動車特別ご祈祷修行者芳名

（順不同敬称略）

小牧市　野呂陽子
〃　㈱寄進産業運輸
関市　石原巧雅
小牧市　ヤマト運輸㈱小牧主管支店
大垣市　すなっく佳代
成田市　米屋㈱　諸岡靖彦

九月の登山講社

東近江市　滋賀丸門運輸㈱　堀田久貴
岐阜南部

名古屋市　名古屋成田講
〃　港トラック成田講
〃　金山橋講
山県市　成田山岐北月参講
◆索の会　名古屋成田講支部
　港トラック支部
　岐北月参講支部
　金山橋講支部

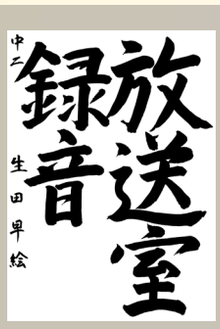
令和8年（2026）熊本地震義援募金

境内各所に募金箱を設置しております。皆様のお心をお寄せください。お寄せいただいた浄財は、支援活動のために大切に活用させていただきます。

ご参拝ご信徒の皆様の温かいご支援ご協力をよろしくお願い申しあげます。



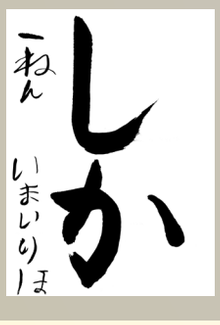
紙上書道展



中二　生田　早絵
【評】一画、一画ていねいで、熱心さが伝わります。



小四　合志　航太郎
【評】はね・はらいがとても美しい作品です。



小一　今井　里歩
【評】おさえが正しくできました名前もすばらしい。

お詫びと訂正

本紙９月号に掲載いたしました教苑欄の内容に、一部誤りがございました。読者の皆様ならびに関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

■訂正内容
（誤）天禄元年・平成から未来へ
（正）天禄元年・平安から未来へ

新聞編集室

編集室より

十月から七五三参りが始まり、境内はお子様の健やかな成長を願うご家族の姿でにぎわいます。また、子供たちが日頃の練習の成果を発揮し、書の腕前を競う揮毫大会では、一生懸命に筆を運ぶ子供たちが印象的でした。福井別院や大阪別院では開創記念大祭が営まれ、十一月三日には当山の記念大祭も厳修されます。秋は成田山にとって大切な行事が続く季節です。皆様にとって実り多き秋となりますよう、各行事へのご参拝を心よりお待ちしております。

総合企画部記